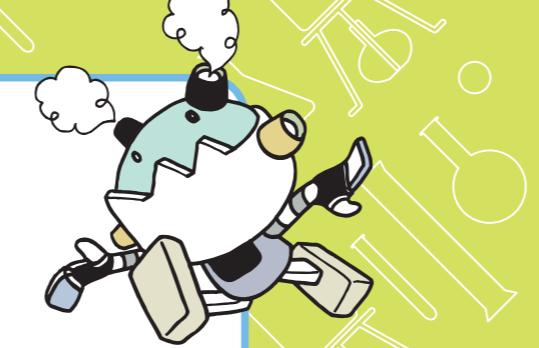


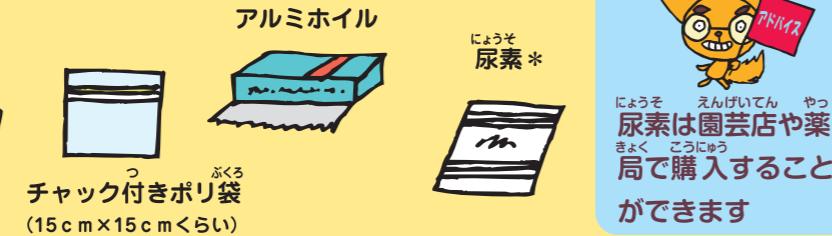
れいきやく 冷却パックを作ろう！

今回紹介する実験は、冷却パック作りです。
園芸店で肥料として売られている尿素を使って冷却パックを作ります。
とても簡単に作れるので、皆さんも挑戦してみましょう!
実験は必ず大人と一緒に行ってください。

開成中学校・高等学校
宮本一弘



じゅんび 準備するもの



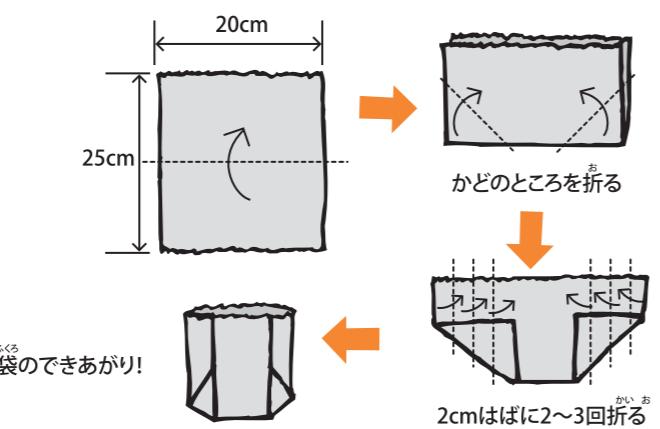
じっけんほうほう 実験方法



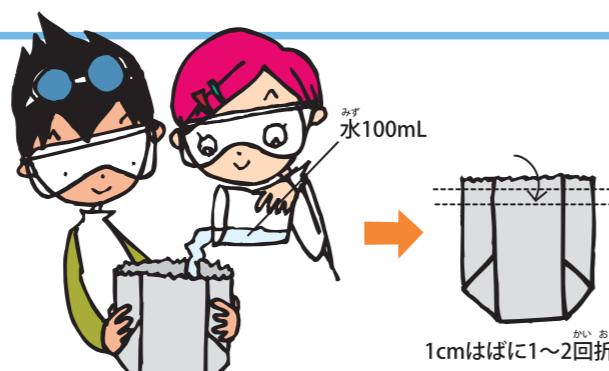
1 チャック付きポリ袋に、尿素を
紙コップ2杯くらい(約250g)
入れる



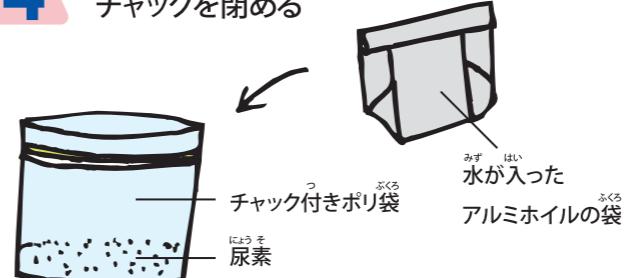
2 25cm×20cmくらいに
アルミホイルを切り、
袋をつくる



3 アルミホイルの袋に、
水を紙コップ半分くらい
(約100mL)入れ、
袋を閉じる

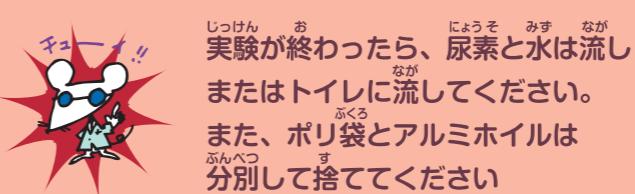


4 水を入れたアルミホイルの袋をポリ袋に入れ,
ポリ袋内の空気をなるべく抜いてから,
チャックを閉める



5 冷却パックをたたき,
アルミホイルの袋内の水を出す

あつという間に冷たくなります



じっけん かいせつ 実験の解説

どうして冷たくなるの?

この冷却パックは、どうして冷たくなるのでしょうか?その理由は、尿素には水に溶けると冷たくなる性質があるからです。ポリ袋をたたいて、中のアルミホイルの袋を破り水を出すと、尿素が水に溶けて冷たくなるのです。

尿素は何に使われてるの?

尿素には、植物が成長するために必要な成分が含まれています。そのため、肥料として園芸店で売られているのです。また、尿素には保湿作用があり、化粧品店で尿素を含んだハンドクリームも売られています。尿素って、いろいろなところで利用されているんですね。

